

平成28年度
アイラブつくばまちづくり補助事業
活動事例集



つくば市

アイラブつくばまちづくり補助事業活動事例集 目次

(1) 少子高齢化対策に関する事業

元気でいよう会	P1
おはなしの泉	P2
栗原スポーツ鬼ごっこクラブ支援者の会	P3
リレー・フォー・ライフ・ジャパン茨城実行委員会	P4
つくば遊ぼう広場の会	P5
UDワーク・つくば	P6
NPO法人kosodateはぐはぐ	P7
サロンゆうゆう	P8
小児患者保護者のおしゃべり会	P9
一緒にしましょ@つくば	P10
つくば子どもと教育相談センター	P11
つくばフォレストクラブ	P12

(2) 環境保全及び地球温暖化対策に関する事業



つくば市環境マイスターの会	P13
---------------	-----



(3) 安心・安全なまちづくりに関する事業


通学路の安全を守る会	P14
館笠自治会	P15
特定非営利活動法人 研究学園・葛城	P16
米米くらぶ	P17
つくば市マンション連絡会	P18
特定非営利活動法人 イバラキ県防災教育振興協会	P19
全世代が全世代に係るまちづくり研究会	P20


(4) 日本一の教育都市への取組に関する事業

つくばボードゲーム愛好会	P21
NPO法人子どものための救命教室	P22
おもしろ！ふしぎ？実験隊	P23
GS発表会実行委員会	P24
ゆうゆうゆう会	P25
ステラファミリア	P26

団体名	元気でいよう会
事業名	認知症予防体操「スクエアステップ・エクササイズ」を地域で楽しもう
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	174,320円
補助金額	103,000円
担当課	健康増進課
団体の活動概要	春日交流センターで活動している「元気でいよう会」です。平成24年に設立し、認知症予防及び転倒予防などを目的とした体操(スクエアステップ・エクササイズ)を実践しています。年々好評を得るに従って、会員数も増加傾向にあります。
事業内容	我々の活動を市内にもっと普及すべきとの考えから、今年につくば市内の谷田部地区と桜地区において「スクエアステップリーダーのための講座」を実施しました。講座は2時間を単位とし、ラジオ体操、筋トレ、スクエアステップ・エクササイズ、合唱、瞑想などのメニューで行いました。
事業の成果	実施期間 平成28年9月6日(火)～10月21日(金) 実施場所 島名交流センター, 栗原交流センター 参加者数 47名(島名37名, 栗原10名) 上記2か所における普及活動の終了後に、この体操は効果があり、面白いので引き続き実施してほしいとの圧倒的な意見をいただき、直ちにクラブが3か所(島名, 真瀬, 栗原)において誕生しました。
今後の目標・展開	当初3か年計画で普及活動を実施する予定であったが、1年目で3か所のクラブが誕生したので、このクラブ活動が本当に独り立ちできるように慣熟訓練を積み重ね、継続実施できるようにしていきます。
採択・実践のコメント	・採択1年目で、申請時の目的をほぼ達成し、次年度以降は自主財源で実施できる事業になったことを評価します。 ・今後は、今回誕生した3か所の継続はもちろんのこと、各々が自主財源で運営できるようになることを期待します。
活動状況写真	 


団体名	おはなしの泉
事業名	赤木かん子講演会「子育て世代のための絵本と読み聞かせ講座」
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	123,738円
補助金額	100,000円
担当課	中央図書館
団体の活動概要	昭和60年の設立以来、市内の幼稚園、保育所、小学校、図書館、大学附属病院等でストーリーテリングや絵本の読み聞かせのボランティア活動をしています。毎月2回の頻度で自主勉強会を、1年に一度外部からの講師を招いての研修を行っています。
事業内容	児童文学評論家の赤木かん子氏を講師に迎え、「子育て世代のための絵本と読み聞かせ講座」をテーマに、めまぐるしく変化する現代社会の中で、子供に本を与えることがいかに重要であるか、また、それに際してどんな本を選べばよいかについて、講演していただきました。
事業の成果	実施日 平成28年6月25日(土) 実施場所 中央図書館 参加者数 40名(うち、乳幼児・児童の子育て世代20名) 参加者にアンケートを記入してもらったところ、「目からうろこの内容だった」「子どもが置かれている状況が想像以上に深刻であるとわかった」など好評でした。
今後の目標・展開	今回の講演内容を踏まえて、ボランティアとして研鑽を積んで、今後つくば市内での活動を継続し、子育て世代の方々とともに、子供達の読書環境をより良いものとする活動に取り組んでいきたいと思えます。
採択・実践のコメント	・講演会場内に保育スペースを設けるなど、子育て世代に参加しやすい環境づくりをしたことや、予算通りの執行力で事業を実施したことを評価します。 ・今後も、子育て世代に寄り添った読書環境の整備と、ストーリーテリングや読み聞かせ活動の継続を期待します。
活動状況写真	 


団体名	栗原スポーツ鬼ごっこクラブ支援者の会
事業名	スポーツ鬼ごっこを楽しもう！友だちの輪を広げよう！！
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	116,386円
補助金額	50,000円
担当課	スポーツ振興課
団体の活動概要	遊びをつうじて、運動能力だけでなく、社会性やコミュニケーション力を育てていきたいと願い、子供達が自ら考えて遊ぶ機会や、友達と集団で遊ぶ場づくりとして、スポーツ鬼ごっこを中心とした集団遊びを定期的に行いました。
事業内容	1 毎週月曜日放課後に栗原小学校校庭でスポーツ鬼ごっこ 2 近隣の小学校にも参加者を募って体験会の実施 3 スポーツ鬼ごっこ大会への参加 等
事業の成果	定期利用児(16名)に加え、単発行事(体験会35名、芋掘り21名、餅つき19名)や、短期的な参加の機会をつくり(9月～10月22名、1～2月23名)、より多くの子供に参加してもらうことができました。 つくば市子ども会育成連合会の大会において、参加13チーム中、優勝・準優勝することができました。
今後の目標・展開	これからも、安定して集団遊びができる場を提供し、体験会などを行い、仲間を増やし、活動を継続していきます。
採択・実践のコメント	・対象の栗原小学校だけでなく、近隣の小学校へ参加者を呼びかけ、広く市民に開かれた事業を目指したことを評価します。 ・このような地域活動は多世代の交流を生み、社会性や公共性を得る機会になることから、地域の事業として定着することを期待します。
活動状況写真	



団体名	リレー・フォー・ライフ・ジャパン茨城実行委員会
事業名	がん患者支援・がん検診啓発写真展
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	146,924円
補助金額	100,000円
担当課	健康増進課
団体の活動概要	2人に1人ががんに罹患する現代において、市内のがん拠点病院における種々の取組やがん治療の進展の写真を使って紹介し、がん検診に対する市民の意欲を高めています。また、がんについての啓発や、がん研究・患者支援のための寄付を募ることを目的とした、がん検診支援チャリティーウォークイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン茨城」を実施しています。
事業内容	筑波大学附属病院・筑波学園病院・筑波メディカルセンター・茨城県立中央病院の各玄関・ロビー及び研究学園駅前公園管理棟内において、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン茨城2015」での啓発活動の様子及び各病院の院長・医師のインタビューをパネルにして展示しました。また、大会案内や病院のがんへの取組のパンフレットなどを置きました。
事業の成果	筑波大学附属病院に置いた写真展用チラシ200枚がすべて持っていかれました。また、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン茨城2016」の参加者数が、前回より100名ほど増えました。このことから、早期発見・早期治療のためのがん検診の重要性を訴えることができました。また、市内および県内のがん拠点病院におけるがん治療の取組を知ってもらうことができました。
今後の目標・展開	がん拠点病院での活動やつくば市での取組紹介は、かなり好評なので今後も継続していきたい。
採択・実践のコメント	・パネル展示をとおして、がんについての正しい知識や早期発見・早期治療のためのがん検診の啓発活動を行ったことを評価します。 ・今後も、このような啓発活動を地域や医療関係者と連携をとりながら、広く市民へ周知されることを期待します。
活動状況写真	


団体名	つくば遊ぼう広場の会
事業名	ゴンタで夏休み2016
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	216,360円
補助金額	150,000円
担当課	公園・施設課
団体の活動概要	「つくば遊ぼう広場の会」は、平成15年に設立し、遊びを人と人とのつながりと捉え、より豊かな遊びの環境をつくることを目指しています。さくら運動公園内で、市と日本スポーツ振興協会の協力を得て、冒険遊び場を維持しています。
事業内容	1 「ゴンタで夏休み2016」の開催 実施期間 平成28年8月1日(月)～3日(水), 20日(土), 21日(日) 10:00～14:00 内容 野外遊び, 工作教室 2 市民文化祭参加 実施日 平成28年11月5日(土)10:00～14:00 内容 棒巻パン料理教室 1, 2とも, さくら運動公園内「子育て冒険広場ゴンタの丘」で開催
事業の成果	参加者数 8月1日 大人42名 子供64名 計106名 33家族 8月2日 大人40名 子供66名 計106名 41家族 8月3日 大人48名 子供78名 計126名 48家族 8月20日 大人7名 子供6名 計13名 3家族(雨天) 8月21日 大人39名 子供46名 計85名 23家族 11月5日 大人74名 子供52名 計126名 42家族
今後の目標・展開	これからも、「子育て冒険広場ゴンタの丘」を継続して解放し、そのなかで、多くの人とつながり、豊かな遊びの環境づくりに取り組んでいきたい。
採択・実践のコメント	・手作りの遊具遊びをとおして、見知らぬ親同士・子供同士がコミュニケーションを育む事業になったことを評価します。 ・今後は、このような事業をとおして、子供とそれを見守る大人同士を繋ぐプレーリーダー育成事業になっていくことを期待します。
活動状況写真	 



団体名	UDワーク・つくば
事業名	つくセン・ピクニック
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	123,004円
補助金額	50,000円
担当課	障害福祉課
団体の活動概要	つくばセンター地区を中心に、近隣エリアでおおむね月1回のイベントを開催しています。イベント参加をとおして、様々な方とご近所さんの関係づくりを行っています。参加者のしたいことを一緒に考え、企画・運営をしています。また、外出やイベント参加に不安のある方のサポートを併せて行っています。
事業内容	月におおむね1回のペースでイベントを開催しました。 1 外出系 大洗水族館、東京モノマチ・ツアー 2 イベント系 海釣りツアー、クラフトビアフェスタ 3 ものづくり系 クリスマス会、公園ピクニック、草餅づくり 4 おしゃべり系 作戦会議 他
事業の成果	つくばセンター地区を始め、近隣エリアでおおむね月1回のイベントを開催しました。年齢も子供から高齢者まで、延べ108名の参加をいただきました。うち、車椅子や歩行困難の方など障害を持つ方も20名の参加をいただきました。参加者同士のつながりを作る機会になり、参加者の意見を取り入れながら活動を決定していきました。
今後の目標・展開	様々な趣味や特技の人が集まるサークル活動的な寄合所を目指します。「一人ではちょっと億劫だけど、みんなとならやれそう」的なことを増やしていきたいと思っています。
採択・実践のコメント	・ハンディの有無に関係なく、参加したい企画に参加する、垣根を低くした人と人との関係づくりを大切に事業を評価します。 ・今後も、ハンディの有無に関係なく、参加者のチャレンジ精神に寄り添った事業として、発展していくことを期待します。
活動状況写真	 


団体名	NPO法人kosodateはぐはぐ
事業名	訪問型子育て支援と講演会を通じて、地域の支える子育て力を上げるプロジェクト
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	469,102円
補助金額	200,000円
担当課	こども課
団体の活動概要	平成21年の設立以来、赤ちゃんとママのために、仲間づくりや気軽な相談ができる「おしゃべりサロン」を月2～3回開催しています。平成26年からは、支援の場まで外出が難しい親子のために、無料の家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）を実施しており、研修を修了したボランティアが20名ほど登録されています。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の子育て力向上と、家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）活動への理解を深めるため、平成28年7月2日（土）と平成29年1月29日（日）に「地域の子育て力UPセミナー」を開催しました。 2 家庭訪問型子育て支援ボランティア（ホームビジター）養成講座を平成29年1月24日（火）から3月14日（火）までの7日間で開講しました。
事業の成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 行政の専門職から地域のボランティア希望者まで、延べ90名ほどの参加者を得、「産後クライシス」、「子どもの姿勢発達」のテーマでセミナーを実施し、ホームスタート活動への理解を深められた。 2 訪問型ボランティア養成講座は、受講生12名、修了生8名で、ともに過去最高人数で終了しました。
今後の目標・展開	これまでに約70組の親子、妊婦に300回ほどの訪問支援をしてきました。育児に悩む気持ちに寄り添って、今後も多くの家族の力になりたいと思います。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、セミナー開催を行うなど、採択される度ごとに新規の事業を取り入れ、発展的に事業を推進してきたことを評価します。 ・今後は、市との協働事業として実施されますが、更なる自助努力によって、より多くの「ホームスタートビジター」の養成に尽力することを期待します。
活動状況写真	



団体名	サロンゆうゆう
事業名	研究学園地区に新しく住みついた高齢者のためのコミュニティ・カフェ
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	185,277円
補助金額	140,000円
担当課	地域包括支援課
団体の活動概要	ここ数年、急速に人口増加した研究学園地区に引越してきた高齢者は、近所に知人もなく、自宅に閉じ籠もりがちです。高齢者の孤立を防ぐためのサロンを平成27年4月から定期的に月4回、13時から3時間、開催しています。健康管理と患者学の学習、脳トレと筋トレゲーム、合唱、おしゃべりで参加者の交流を深めています。
事業内容	第1・3月曜日と第2・4火曜日に開催し、平均15名が参加しています。主宰者の医師による健康講話の他、健康診断結果に基づく生活習慣(飲食物、食事、嗜好品、運動、生活リズム等)を改善をするため健康管理について助言しています。また、脳トレと筋トレの一部に、健康増進課による6か月間12回の出前教室を利用しました。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月～平成29年2月期は、月2回以上の参加者が30名、月1回以下の参加者は14名でした。 ・健康管理の学習効果として、月2回以上の参加者が、毎日、自宅で血圧を測定するようになりました。 ・参加者間の交流が進み、サロン以外で3～4名が集まり、談笑や互いに癒し合い(ピアカウンセリング)をするようになりました。 ・市内各地からの見学が3グループあり、アドバイスを行うようになりました。
今後の目標・展開	研究学園地区の区会の協力を得て、各戸にサロンのチラシを配布し、閉じ籠もり高齢者をできるだけサロンへ誘い出したいと思えます。サロンの催しは二次予防事業と同様の内容ですので、退職した医療関係者等がサロンで体験、学習していただき、その方々のお住まいの地区の住民とともに、このようなサロンを開くのを支援したいと思えます。
採択・実践のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの部分である医療介護の講話とみんなで楽しむレクリエーションとで、メリハリの効いたサロン運営ができたことを評価します。 ・今後は、医療とコミュニケーションの両面を持ったモデル事業としてますます発展していくことを期待します。
活動状況写真	


団体名	小児患者保護者のおしゃべり会
事業名	在宅重症心身障害児と小児患者の余暇活動を推進する事業
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	242, 825円
補助金額	100, 000円
担当課	障害福祉課
団体の活動概要	在宅重症心身障害児とその家族、入院している小児患者やその他の入院患者が、安全かつ安心して余暇活動を体験し、英気を養う機会をつくっています。また、重度の障害がありながら在宅で過ごす子供達を知ってもらうことで、日常的配慮ができるような社会啓発活動を行っています。
事業内容	1 夏祭り 縁日、嘶家真打の寄席 2 クリスマス会 マカロイズコンサート、サンタさんからプレゼント配布、クリスマス工作
事業の成果	1 夏祭り実施日 平成28年9月4日(日) 参加人数 患者家族125名 ボランティア20名 2 クリスマス会実施日 平成28年12月4日(日) 参加人数 患者家族 85名 ボランティア15名 安心安全な院内で、子供達が家族や友達、また地域ボランティアとともに、季節行事を楽しみました。相互理解を深められた良い行事となりました。
今後の目標・展開	地域学生ボランティアの参加が、定着しつつあります。また、参加家族に毎回楽しいイベントになりました。院内でできる事には限りはありますが、できる限り、家族の望む内容にしたいと思います。
採択・実践のコメント	・病院の医師・看護師、医療メーカー、病院内店舗の企業や学生ボランティアまでも巻き込み、事業を実施できたことを評価します。 ・今後は、自主財源確保をさらに努めていただき、参加家族の希望に沿った内容で事業が実施できることを期待します。
活動状況写真	 

団体名	一緒にしましょ@つくば
事業名	学びましょ♪認知症予防の勉強会
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	58,268円
補助金額	50,000円
担当課	地域包括支援課
団体の活動概要	つくば市の中で、皆さんがゆったりのんびり安心して交流できるコミュニティを作りたいと思い、団体を立ち上げました。老若男女制限せず、「一緒にしましょ♪」と提案する、アットホームで楽しいイベントを考えています。
事業内容	認知症予防の勉強会＆お茶会「年を重ねて明るく元気に生きる」を、以下の内容で実施しました。 1 方波見柳子先生(帝京科学大学准教授)から「認知症の基礎知識」、「コミュニケーションの大切さ」のお話をさせていただきました。 2 フリートーク
事業の成果	実施日 平成29年2月25日(土) 13:30～15:30 実施場所 香色茶坊(つくば市吾妻) 参加者数 16名 勉強会終了後、すぐに席を立てて帰ってしまう人がいませんでした。お茶やお菓子を食べながら、おしゃべりの輪が広がりました。
今後の目標・展開	今後は、「お茶しましょ♪」(不登校・引き籠もりの若者のお茶会)、「おしゃべりしましょ♪」(みんなでお茶をしながらおしゃべり・相談など)、「楽しみましょ♪」(様々なイベントを企画する)、などいろいろと挑戦していきたいです。
採択・実践のコメント	・担当課等と協働作業を重ねることで、初めてのイベント開催を無事にやり遂げたことを評価します。 ・今後は、企画しているテーマの一つ一つを実践に移し、発展した事業になることを期待します。
活動状況写真	


団体名	つくば子どもと教育相談センター
事業名	つくば子どもと教育相談センター学習講演会「思春期・青年期の発達障害と進学・進路」
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	56,664円
補助金額	31,000円
担当課	教育相談センター
団体の活動概要	主につくば市内で活動をしている「つくば子どもと教育相談センター」です。不登校や非行、いじめ、親子関係、発達障害などに関する悩みを相談できる場として平成7年に設立されました。学童期の子供達の居場所活動、親の会活動、学習会・講演会なども行っています。会員対象に、毎月会報を発行しています。
事業内容	つくば子どもと教育相談センターの学習講演会として、以下の講演会を実施しました。 実施日 平成28年12月18日(日) 13:30~16:30 実施場所 並木交流センター 大会議室 内容 (演題)「思春期・青年期の発達障害と進学・進路」 (講師)大六一志先生 日本臨床発達心理士会 茨城支部支部長
事業の成果	今回の学習講演会は会場の関係上、定員を設けることとなり、キャンセル待ちの方を含めて64名の出席者を迎え、盛況に終了することができました。早期発見・早期療養がうたわれている発達障害は、思春期以降に診断されることが少なくなく、この時期の特徴を理解し、対象児の特質に合致した進路を考える機会を提供できたと考えます。講演会終了時に行ったアンケート結果から参加者の満足度が高い講演会だったと言えます。
今後の目標・展開	不登校・引き籠もり、非行、親子関係、発達障害などに関する悩みを親御さんが一人で抱え込まずに、気軽に相談できる場としての活動を今後も末永く行っていき、皆さんの知りたい情報を提供していけるように取り組んでいきたいと思えます。
採択・実践のコメント	・3時間に及ぶ長い講演会だったにもかかわらず、最後まで緊張感あふれる充実した事業になったことを評価します。 ・今後は、社会性の高い事業だけに多くの市民が参加できる会場を確保し、より多くの市民に認知される事業になることを期待します。
活動状況写真	 


団体名	つくばフォレストクラブ
事業名	おぐろくの森・新ソバ試食会
寄附活用分野	少子高齢化対策に関する事業
総事業費	244,814円
補助金額	181,000円
担当課	高齢福祉課
団体の活動概要	里山など森林の再生・環境保全のボランティア活動をしている「つくばフォレストクラブ」です。平成20年に発足し、現在は主に荃崎地区の里山「おぐろくの森」の再生、古道の再生、環境保全活動を行っています。平成28年からは、耕作放棄地の再生にも取り組んでいます。
事業内容	荃崎地域の耕作放棄地を再生しました。「常陸秋そば」を育て、地域の区会、住民等の協力を得てそば打ちを行い、地元の高齢者(主に75歳以上の独居老人等)300人に、打立ての新そばを高齢者の自宅まで直接配達し、試食して頂いた。
事業の成果	実施日 平成29年3月11日(土)、12日(日) 両日とも11:00~12:30 宅配したそば 304人前(配達率100%達成) 協力区会数 9区会 協力者数 53名 感謝の電話 7件
今後の目標・展開	次回も実施してほしいとの希望も多く、住民から好評であった。次回は更に地域全体に広げた展開ができればと思います。
採択・実践のコメント	・耕作放棄地の再生にとどまらず、地域の区会やNPO団体、地域ボランティアを巻き込んで、後期高齢者との交流事業となったことを評価します。 ・今後も、この事業が継続されるばかりでなく、少しでも多くの区会や地域ボランティアを巻き込んだ総合的な事業になることを期待します。
活動状況写真	



団体名	つくば市環境マイスターの会
事業名	自然観察会
寄附活用分野	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業
総事業費	220,427円
補助金額	150,000円
担当課	環境課
団体の活動概要	「つくば市環境マイスターの会」はつくば市と筑波大学の連携による「つくば市環境マイスター育成事業」で、1級に認定された環境マイスターの有志による団体です。つくば市の豊かな自然環境を多くの方々に知っていただくために、自然観察会などの環境教育活動を行っています。
事業内容	4月に里山ウォーク、11月に街中ウォークを行って、環境を考えるきっかけとなる自然観察会を開催しました。5月・7月に児童館の児童を対象とした自然観察会、また桜川漁業協同組合主催の桜川稚魚放流事業における環境教育への協力活動など、未来を担う子供達に環境を見つめたり、考える機会を提供しました。
事業の成果	1 里山ウォーク 参加者 大人26名、子供2名 2 街中ウォーク 参加者 大人27名、子供1名 3 児童館自然観察会 吾妻西児童館14名、二の宮児童館30名 4 桜川稚魚放流事業(桜川漁業協同組合主催の支援事業) 田水山小・田井小・小田小の4年生 50名、筑波小・菅間小の4年生 27名
今後の目標・展開	つくば市内の地質・地形・樹木・歴史・都市計画などについて理解を深め、多くの市民の環境意識を高め、自然環境教育の一助となるような活動を企画していきたいと思えます。
採択・実践のコメント	・まちや里山の緑への関心や親しみを促し、樹木の持つ機能や必要性を説く観察会になったことを評価します。 ・今後も、観察会を定期的で開催することで、つくば市の自然を見守り、環境意識の高い市民を育成する活動になることを期待します。
活動状況写真	 


団体名	通学路の安全を守る会
事業名	地域づくりを考える情報交換・勉強会
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	208,492円
補助金額	100,000円
担当課	市民活動課
団体の活動概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 通学路の安全に関する事項 2 学校と地域の防犯・防災活動 3 子供の貧困対策 4 地域包括ケアシステムに関する講演会・勉強会 5 各種団体相互のコーディネート
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 通学路の草刈り, 枝木の伐採, のぼり旗管理, 登下校パトロール 2 学校と地域の防災訓練, 防災授業 3 子供の貧困対策として, 学用品, 生活用品, 食料の支援 4 地域包括ケアシステムに関し, 在宅医療, 訪問看護, 見守り支援, 居場所づくり, 引き籠もり等の講演会・勉強会 5 各種団体間のコーディネートにより, 共同でのイベントや講演会の開催
事業の成果	<p>実施期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月15日(水)</p> <p>実施回数 23回</p> <p>参加者数 約300名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子供会, 近隣地区の区会が自主的かつ積極的に参加してくれました。 2 シルバークラブ団体など医療・福祉・介護・その他様々な分野で講演会や勉強会開催要請が出てきたことにより, 地域住民のコミュニケーション, ふれあい・支え合いに寄与できました。
今後の目標・展開	平成27年度, 平成28年度の実績を踏まえ地域住民が健康で安心して暮らせるよう積極的な活動を展開していきます。
採択・実践のコメント	<p>・多岐にわたるテーマに沿って, それぞれの内容に応じた参加者同士が一堂に会し, 連絡網を構築することができた活動を評価します。</p> <p>・今後も, 地域コミュニケーションの発展のために, 地域に定着した継続事業になることを期待します。</p>
活動状況写真	



団体名	館笠自治会
事業名	吉沼地区コミュニティ推進事業
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	259,200円
補助金額	50,000円
担当課	市民活動課
団体の活動概要	吉沼地域で活動している「館笠自治会」です。「館笠自治会」は、植栽等による公園整備などの環境保全に取り組んでいます。吉沼地域住民が期待する、より良い環境整備を目指し、活動しています。
事業内容	環境保全を目的として、紫陽花植栽作業を実施しました。
事業の成果	実施日 平成28年4月10日(日) 8:00~11:00 実施場所 館笠集落センター周辺 参加者数 51名 館笠集落センターが吉沼地域全体の憩いの場となることを実感しました。
今後の目標・展開	館笠区会全員参加による環境保全に関する活動を、今後とも継続して実施するとともに、草取り作業・施肥作業等などの維持活動も併せて実施し、今まで以上の環境の向上に向けて、継続事業として取り組んでいきます。
採択・実践のコメント	・館笠集落センターの環境保全や地区コミュニティの形成と、区会が一つにまとまって事業を推進させていることを評価します。 ・今後も、定期的に除草等の維持管理に努めることで、館笠集落センターが地区のシンボルとなることを期待します。
活動状況写真	



団体名	特定非営利活動法人 研究学園・葛城
事業名	TX研究学園・葛城 千本桜まちづくり事業
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	175,034円
補助金額	150,000円
担当課	まちなみ整備課
団体の活動概要	平成24年に特定非営利活動法人として認可を受け、葛城地区でのまちづくり活動を行っています。平成19年3月からスタートした「千本桜まちづくり事業」では、植樹した約700本のサクラの維持管理を年間を通じて行うとともに、研究学園駅前イルミネーション事業や防犯パトロール事業に参画し、地域の賑わいづくり、安心・安全なまちづくりに貢献する活動を行っています。
事業内容	今までに植樹したサクラの周辺の除草作業、立ち枯れ等によるサクラの除去、そして、新たなサクラの苗木の補植を行いました。また、調整池法面等に散乱する「ゴミ」拾いを実施しました。 1 除草作業日 平成28年5月25日(水)10:00~12:00 2 補植作業日 平成29年3月18日(土)9:00~14:00
事業の成果	今までに植樹した約700本のサクラ(ソメイヨシノ、シダレサクラ等)の維持管理ができました。サクラの成長とともに、今日までの当法人の活動が認められ、当地区に住み、働き、訪れる人にとって、魅力となり地域の賑わいづくりに貢献できました。
今後の目標・展開	サクラの成長がまちとしての魅力づくり、地域のコミュニティ形成につながると思われることから、多くの人に参加できるようなイベントを計画し、まちづくりに貢献していきたいと思います。
採択・実践のコメント	・作業日に特定せず、会員ができる日に、できる場所で、できる作業を継続して実施していることを評価します。 ・今後も、継続的な植樹と維持管理に努めることで、地域の賑わいづくり、安心・安全なまちづくりに貢献することを期待します。
活動状況写真	

団体名	米米くらぶ
事業名	親子で米作り
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	141,202円
補助金額	50,000円
担当課	農業課
団体の活動概要	約20年前から、上ノ室の専業農家の方にお世話になりながら、米作りをしています。「コメ作りビト」と、そのおコメを食べる「コメ食べビト」の交流を深めるところから始まり、今は親子でともに働き、学ぶ会にもなっています。
事業内容	田植え(手植え)、稲刈り(手刈り)に加え、天日で乾燥させたコメを脱穀、もみすりをして、米になるまでを体験しました。竹の子掘りや収穫祭を行いました。
事業の成果	実施期間 平成28年4月17日(日)から12月4日(日) 参加者数 延べ250名 収穫量 一等米玄米255kg 親子による米作り体験の他、田の周りの自然環境の観察ができました。また、農家の方との交流のなかで、農家の置かれている状況について理解が進みました。
今後の目標・展開	今後も、より農家の方との連携を深めながら、米作りを体験しつつ、農業に関わる理解を深める活動をしていきたいと思えます。
採択・実践のコメント	・親子による米作り体験ばかりでなく、農家の方との交流のなかで、農業の置かれている状況について学ぶ事業にしたことを評価します。 ・今後は、米作りの楽しさを通して、将来的に少しでも農業の担い手が増えるような事業になることを期待します。
活動状況写真	


団体名	つくば市マンション連絡会
事業名	マンション居住者および管理組合のためのセミナー・学習会
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	56,036円
補助金額	46,000円
担当課	営繕・住宅課
団体の活動概要	当会は、つくば市とNPO法人、市民が協力し平成25年に設立しました。マンション管理組合のネットワークは、茨城県では当会が最初です。マンション管理と地域社会に対するマンション住民の意識向上のため、セミナーや学習会を開催し住環境の改善を図っています。
事業内容	マンションでの安心居住に向けた情報提供、意識向上を目的として、以下の事業を行いました。 1 セミナー 「筑波研究学園都市の変遷と良好な住環境づくりを考える」 「住まいの植栽管理」 2 学習会 「意外に多い共用部の電力使用」 「長く持たせ使用する機械式駐車場のメンテナンス」
事業の成果	1 セミナー実施日 平成28年6月 参加者数 45名 12月 参加者数 15名 2 学習会実施日 平成28年9月 参加者数 18名 平成29年3月 参加者数 24名 アンケートの結果では、ほとんどの参加者から良い評価をいただきました。
今後の目標・展開	マンションの増加に伴い、将来は県内や全国規模の団体と連携していく必要があると考えています。認知度を高め会員を増やし、行政やNPOと連携しながらマンションだけでなく地域の住環境整備のために活動を広げ、近い将来には自主運営することを目指していきます。
採択・実践のコメント	・マンション居住者やマンション管理に関わる者が抱える諸問題について、他団体との情報・意見交換を行うセミナーを開催したことを評価します。 ・マンション住民及び管理組合の知識の向上、さらに地域コミュニティの醸成に向けた意識啓発活動になることを期待します。
活動状況写真	 



団体名	特定非営利活動法人 イバラキ県防災教育振興協会
事業名	楽しく遊ぼう！防災演習ゲーム
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	324,000円
補助金額	150,000円
担当課	危機管理課
団体の活動概要	災害から命とまちを守るため、防災教育によって人々の自助の力を高め、公助との連携を活性化しています。具体的には、発災の瞬間を生き残る防災教育の普及、行政と個人が防災知識を共有する防災プラットフォームの構築、継続的な防災活動を実現するための地域防災リーダーの育成などを行っています。
事業内容	災害発生時に、どんな行動をすべきか、実生活の中にあるもので救助用グッズを作るやり方など、いざという時の行動を円滑に行動がとれるよう、楽しみながらできるゲーム形式の演習をとおして体験していただきました。
事業の成果	実施日 平成28年6月4日(土), 5日(日) 実施場所 つくばカピオ 参加者数 約1,000名 うち、有料参加者(中学生以上)276名 防災教育の必要性に対する再認知と発災の瞬間の初動確認をすることができました。
今後の目標・展開	防災演習ゲームとしては全国に先がけ初の試みとして挑戦し、大きなケーススタディとなったので、これを地域の状況に即した形でつくば市から全国に展開していきたいと思っています。
採択・実践のコメント	・防災ゲームという親しみやすい事業にしたことで、多数の市民が参加し、防災啓発に役立ったことを評価します。 ・今後は、つくば市の現状に即したオリジナルの防災演習ゲームが、構築されることを期待します。
活動状況写真	 



団体名	全世代が全世代に係るまちづくり研究会
事業名	柏市のまちづくりを聞く講演会
寄附活用分野	安心・安全なまちづくりに関する事業
総事業費	74,000円
補助金額	65,000円
担当課	地域包括支援課
団体の活動概要	人口が減少し、高齢者比率が高まり、さらに少子化が現実のものとなってきました。そのようななかで、まちづくりの在り方を勉強しながら、具体的な動きになるよう活動をしています。
事業内容	「柏モデル」として評価されている柏市のまちづくりの具体的な進め方を柏市福祉政策課の永塚課長からお聞きしました。
事業の成果	実施日 平成29年3月4日(土) 実施場所 ノバホール 小ホール 参加者数 40名 まちづくりに強い関心を持っている方が参加し、講演者の説明も具体的だったので、今後の活動の参考になりました。
今後の目標・展開	地域包括ケアシステムの構築に向け、市民としての活動に役立てたい。
採択・実践のコメント	・実際の取組に基づく有意義な講演会であったことを評価します。 ・今後、地域住民自ら考え、実行する住民主体の取組は、医療と介護の連携及び地域連携システム構築に向けた市民への啓発は有用なので、今後も継続的に展開されることを期待します。
活動状況写真	 



団体名	つくばボードゲーム愛好会
事業名	第2回つくば小中学生将棋大会
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	77,483円
補助金額	50,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	まだ学区に児童館がない春日学区で、ボードゲームを中心に放課後の小学生の居場所づくりとして、春日交流センターを会場に「ボードゲームの広場」を週1回行っています。
事業内容	これまでつくば市内では将棋大会が開催されてこなかったので、放課後に将棋を学んだ成果を発揮できるように、目標となる大会として「つくば小中学生将棋大会」を実施しました。
事業の成果	実施日 平成28年8月11日(木・祝) 実施場所 つくばカピオ 和室 参加者数 23名 学生ボランティア 12名 地域団体と大学が協力し、社会貢献活動や地域社会へ参加する機会をつくることができました。
今後の目標・展開	学生ボランティアとの協力体制が非常にうまくいったのは、「ボードゲームの広場」での日頃の活動の成果だと思うので、今後も連携を続けていきたいと思いません。
採択・実践のコメント	・筑波大学、筑波学院大学の学生も巻き込んだ市民活動を展開することで、つくばのまちづくりに学・官・民の三者が加わったことを評価します。 ・今後は、少しでも多くの子供達が参加できるように内容を工夫し、活動することを期待します。
活動状況写真	 

団体名	NPO法人子どものための救命教室
事業名	子どものための救命教室開催事業
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	258,462円
補助金額	200,000円
担当課	警防課
団体の活動概要	「つくば市の全ての子どもたちに救命教育」を目標に活動しているNPO法人です。未就学児と小学生の子ども達が、保護者と一緒に参加できる救命教室を開催しています。
事業の内容	子ども達は、命の仕組みを理解するとともに、「目の前で誰かが倒れたらどうすればよいか」の講習を行いました。保護者は、小児の心肺蘇生法を体験し、我が子の急変に対応できるスキルを身につけるとともに、継続して学ぶことの必要性についての講習を行いました。講習を修了した子ども達に「キッズ救命隊」の認定カードと缶バッチをプレゼントしました。
事業の成果	実施日 平成28年9月4日(日)、10月23日(日)、12月11日(日)、平成29年3月5日(日) 実施場所 中央消防署 総申込人数 249名 参加人数 140名
今後の目標・展開	今後も継続して救命教室を開催し、目の前で誰かが倒れた時に勇気ある行動をとれる「キッズ救命隊」を増やしていきたいと思っております。これにより互いに慈しみあう安心・安全なまちづくり、そして地域の救命率の向上を目指します。
採択・実践のコメント	・担当部署とお互いの特性や立場を理解し、目的を共有して市民協働で事業を行ったことを評価します。 ・今後も、担当部署の持つ情報力を活用して、広く子供とその保護者に救命教育の大切さを継続して伝えられる事業になることを期待します。
活動状況写真	

団体名	おもしろ！ふしぎ？実験隊
事業名	科学ボランティアをやってみよう！
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	400,381円
補助金額	200,000円
担当課	科学技術総合調整室
団体の活動概要	平成16年度から活動を始め、現在は年間60回以上(延べ参加人数年間約2,500名)の実験教室を行い、子供達に科学への興味関心を持たせる活動をしています。Webサイトでは、理科の情報をふんだんに公開し、多くの方に利用していただいています。また、近年は、科学ボランティア育成にも力を入れ、大人・大学・科学館職員向けの養成講座も行っています。
事業内容	つくば市内の児童館で実験教室を開催しながら、科学ボランティア(子供・大人)の募集を行い、募った科学ボランティアと一緒に「つくばサイエンスコラボ2016」に子供向け科学体験ブースを出展しました。
事業の成果	コラボボランティア参加者数 59名 科学体験ブース参加者数 350名 コラボボランティアの参加数は児童館でのPR効果もあり予想を大幅に上回り、「伝える楽しさ！」を存分に感じていただけたようです。コラボボランティアの生き生きした活動が、科学体験活動参加数の増加にも寄与したと思われれます。
今後の目標・展開	児童館での実験教室を継続することはもちろんのこと、本事業で「科学ボランティア」の楽しさを感じた方々に、継続的に活動の場・ノウハウを提供できるようにしていきます。
採択・実践のコメント	・担当部署とお互いの立場をわきまえた協働の実施によって、多数のボランティアとともに事業を実施できたことを評価します。 ・今回のノウハウを今後の活動に活かすことで、市民の科学技術の意識を更に高める事業となることを期待します。
活動状況写真	

団体名	GS発表会実行委員会
事業名	GS発表会実行委員会
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	1,006,415円
補助金額	50,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	より多くの方々に「DANCE」の楽しさを知っていただきたい思いで活動しています。1年目は「プロローグ」、2年目は「ステップアップ」、3年目の今回は「降臨」とその年ごとにテーマを定め、見る者、発表する者双方に達成感が得られています。次回のテーマは、「覚醒」を予定しています。
事業内容	「GRANDSOUL」 THE LIVE 平成28年5月14日(土)リハーサル 平成28年5月15日(日)公演 昼13:00～、夜17:00～ の2公演 市民等にDANCEパフォーマンスを披露し、踊り手と鑑賞者が一体となって「DANCE」を楽しみました。
事業の成果	実施日 平成28年5月15日(日) 実施場所 市民ホールくさぎ(つくば市小荊) 参加者数 1,031名 発表者は、子供85名、大人90名。年齢層が広域にわたることから「DANCE」を通じての健康増進のみならずコミュニケーションづくりにもつながりました。
今後の目標・展開	今後も年1回のペースで、より広く「DANCE」の楽しさに触れていただけるよう継続的に実施していきます。
採択・実践のコメント	・世代間交流を促しつつ、踊り手と鑑賞者が一体化した公演となったことを評価します。 ・ダンスイベントは、若年層を中心に市民ニーズが高いため、今後も継続して公演が行われることを期待します。
活動状況写真	 

団体名	ゆうゆうゆう会
事業名	吃音のある子ども達支援事業
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	179,400円
補助金額	50,000円
担当課	教育指導課
団体の活動概要	吃音のある子供達が、吃音を持ちながらも健やかに成長発達できるように支援する会です。茨城県内の言語聴覚士・教員が中心になって、主に就学後から中学生までの吃音がある子供達と話す練習をしたり、遊んだり、発表会をして、話すことに自信をつけていくよう支援します。
事業内容	定例会では、遊びや「ことば」の練習、及び親の会をしました。 7月2日(土)の講演会では、九州大学病院の医師である菊池良和先生をお招きして、吃音についてのお話を伺いました。
事業の成果	実施期間 平成28年4月17日(日)から平成29年2月19日(日) 計9回 実施場所 春日交流センター、つくばイノベーションプラザ 参加者数 延べ146名 子供達は、吃音に向き合い、吃音を嫌なものではなく、一つの症状として捉えることができるようになってきました。
今後の目標・展開	広報をとおして、吃音についての理解を深めたい。また、今年で4年目になるので、スタッフも新たに求めて、継続を目指したいと思います。
採択・実践のコメント	・孤独になりがちな吃音のある子供達が、その症状に応じた仲間づくりをできるように環境作りを行った活動を評価します。 ・今後も吃音のある子供達が、つらい思いを乗り越えられるよう、吃音について社会的理解を得られるような活動を期待します。
活動状況写真	 

団体名	ステラファミリア
事業名	スイートコンサート No.4
寄附活用分野	日本一の教育都市への取り組みに関する事業
総事業費	143,000円
補助金額	50,000円
担当課	文化振興課
団体の活動概要	つくば市を中心に、お気に入りの場所で音楽を楽しむお手伝いをする音楽家のグループです。やさしい解説や楽しい楽器体験を盛り込んだ音楽会を各地で行ってきました。小さなサロンから大ホールのイベントまで、あなたのために素敵な音楽をお届けしています。
事業内容	1 無料公開リハーサルの実施 障害のある方や子育て世代等の音楽会に参加しづらい方への啓発活動 2 「スイートコンサート No.4」の開催 ヴァイオリンとハープによる音楽会 終演後は茶菓付きの交流会
事業の成果	実施日 平成29年1月27日(金) 無料公開リハーサル(14:30~15:30) 平成29年1月29日(日) スイートコンサート No.4(13:00, 15:10の2公演) 実施場所 パティスリー・アランマリー(つくば市松代) 参加者数 1月27日9名, 1月29日13時の部30名, 15時10分の部32名
今後の目標・展開	つくば市の特徴を活かした音楽文化活動を活性化させていくために、会場を提供して下さる店舗や企業などを積極的に開拓していく努力をしていきます。また、経費の負担を軽くしていくために、今後、多くの人に参加・協力できる「仕掛け」を考えて、少しの負担で皆が幸せになるような運営体制を築いていきたいと思えます。
採択・実践のコメント	・リハーサル、公演ともにベビーカーでの鑑賞可能ということで、子育て世代に広く門戸を開いたことを評価します。 ・今後は、違った会場で実施することにより、普段コンサートホールに行けない市民への鑑賞の場の提供となることを期待します。
活動状況写真	 

アイラブつくばまちづくり補助事業一覧

ページ	団 体 名	寄附活用分野	
	事 業 名	補 助 額	担 当 課
1	元気でいよう会	少子高齢化対策に関する事業	
	認知症予防体操「スクエアステップ・エクササイズ」を地域で楽しもう	103,000円	健康増進課
2	おはなしの泉	少子高齢化対策に関する事業	
	赤木かん子講演会「子育て世代のための絵本と読み聞かせ講座」	100,000円	中央図書館
3	栗原スポーツ鬼ごっこクラブ支援者の会	少子高齢化対策に関する事業	
	スポーツ鬼ごっこを楽しもう！友だちの輪を広げよう！！	50,000円	スポーツ振興課
4	リレー・フォー・ライフ・ジャパン茨城実行委員会	少子高齢化対策に関する事業	
	がん患者支援・がん検診啓発写真展	100,000円	健康増進課
5	つくば遊ぼう広場の会	少子高齢化対策に関する事業	
	ゴンタで夏休み2016	150,000円	公園・施設課
6	UDワーク・つくば	少子高齢化対策に関する事業	
	つくセン・ピクニック	50,000円	障害福祉課
7	NPO法人kosodateはぐはぐ	少子高齢化対策に関する事業	
	訪問型子育て支援と講演会を通じて、地域の支える子育て力を上げるプロジェクト	200,000円	こども課
8	サロンゆうゆう	少子高齢化対策に関する事業	
	研究学園地区に新しく住みついた高齢者のためのコミュニティ・カフェ	140,000円	地域包括支援課
9	小児患者保護者のおしゃべり会	少子高齢化対策に関する事業	
	在宅重症心身障害児と小児患者の余暇活動を推進する事業	100,000円	障害福祉課
10	一緒にしましょ@つくば	少子高齢化対策に関する事業	
	学びましょ♪認知症予防の勉強会	50,000円	地域包括支援課
11	つくば子どもと教育相談センター	少子高齢化対策に関する事業	
	つくば子どもと教育相談センター学習講演会「思春期・青年期の発達障害と進学・進路」	31,000円	教育相談センター
12	つくばフォレストクラブ	少子高齢化対策に関する事業	
	おぐろくの森・新ソバ試食会	181,000円	高齢福祉課
13	つくば市環境マイスターの会	環境保全及び地球温暖化対策に関する事業	
	自然観察会	150,000円	環境課

アイラブつくばまちづくり補助事業一覧

ページ	団 体 名	寄附活用分野	
	事 業 名	補 助 額	担 当 課
14	通学路の安全を守る会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	地域づくりを考える情報交換・勉強会	100,000円	市民活動課
15	館笠自治会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	吉沼地区コミュニティ推進事業	50,000円	市民活動課
16	特定非営利活動法人 研究学園・葛城	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	TX研究学園・葛城 千本桜まちづくり事業	150,000円	まちなみ整備課
17	米米くらぶ	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	親子で米作り	50,000円	農業課
18	つくば市マンション連絡会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	マンション居住者および管理組合のためのセミナー・学習会	46,000円	営繕・住宅課
19	特定非営利活動法人 イバラキ県防災教育振興協会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	楽しく遊ぼう！防災演習ゲーム	150,000円	危機管理課
20	全世代が全世代に係るまちづくり研究会	安心・安全なまちづくりに関する事業	
	柏市のまちづくりを聞く講演会	65,000円	地域包括支援課
21	つくばボードゲーム愛好会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	第2回つくば小中学生将棋大会	50,000円	文化振興課
22	NPO法人子どものための救命教室	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	子どものための救命教室開催事業	200,000円	警防課
23	おもしろ！ふしぎ？実験隊	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	科学ボランティアをやってみよう！	200,000円	科学技術総合調整室
24	GS発表会実行委員会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	GS発表会実行委員会	50,000円	文化振興課
25	ゆうゆうゆう会	日本一の教育都市への取り組みに関する事業	
	吃音のある子ども達支援事業	50,000円	教育指導課
26	ステラファミリア	日本一の教育都市への取組に関する事業	
	スイートコンサート No.4	50,000円	文化振興課